

教科(科目)	農業(野菜)	単位数	4単位	学年(学科・コース)	生産技術科2年生野菜コース
使用教科書	野菜 実教			授業形態	必修
副教材					

## 1 科目目標

野菜の栽培と経営に必要な知識と技術を習得させ、野菜の特性や栽培に適した環境を理解させるとともに品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる

## 2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5 6 7	第1章野菜の種類と生産 1 野菜の種類と食品としての利用 2 野菜の生産と消費の動き 第2章野菜の生育特性と栽培技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本で栽培している野菜の来歴等を理解させる。</li> <li>2つの野菜の分類方法を知り生理、生態の類似性を理解させる。</li> <li>野菜の種類別の作付面積や生産量の推移の理由を考えさせる。</li> <li>周年出荷と産地の形成について理解させる</li> <li>施設栽培と露地栽培の作型を理解させる。</li> <li>野菜の栄養成長、生殖成長を理解させる。</li> </ul> ☆本校野菜圃場の中でその栽培法、管理作業等学習していく。 主な作目(キュウリ、トマト、メロン、スイカ、エダマメ等、)	4 4 4 4 4 10	定期考査を行い、知識の理解度を評価する。栽培実習・観察における態度、レポートを評価する。 授業への出席状況、態度や意欲について評価する。
8 9 10 11 12	1 種子と発芽 2 茎、葉の成長 3 根の発達と肥大 4 葉根菜類の花芽形成と抽だい 5 果菜類の花芽分化と果実の発育	<ul style="list-style-type: none"> <li>発芽実験を行い、発芽の条件生理について理解させる。</li> <li>各種野菜の茎、葉の特徴を圃場での観察をとおして覚える。</li> <li>野菜の種類による根の分布の違いを知る。</li> <li>花芽形成の外的条件を理解させる。</li> <li>果菜類の花芽形成と果実肥大を理解させる。</li> <li>両性花、単性花の違いと受粉受精を理解させる。</li> </ul> ☆本校野菜圃場の中でその栽培法、管理作業等学習していく。 主な作目(ダイコン、ハクサイ、ブロッコリー、ナス、キャベツ等)	6 4 6 6 6 6	同上
1 2 3	第3章 野菜の育苗 1 良い苗の条件 2 育苗の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜苗についての外観など素質を理解させる。</li> <li>接木の目的を知り、育苗管理ができるようにする。</li> <li>作付け計画を立てられるようにする。</li> </ul> ☆本校野菜圃場の中でその栽培法、管理作業等学習していく。	2 4	同上

## 3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心・意欲・態度	野菜の栽培について興味・関心を持って学習できているか。	授業態度、レポート等
思考判断	野菜の特性や栽培に適した環境を理解し、観察結果などから栽培方法を的確に判断し、自ら行動できているか。	上記を総合して100点満点で評価する
技能表現	栽培実習において正しい技術が身につき、自ら実践できているか。	
知識理解	野菜の特性や栽培に適した環境について知識や理解が深められているか。	

教科(科目)	農業(野菜)	単位数	2単位	学年(学科・コース)	生産技術科3年生野菜コース
使用教科書	野菜 実教			授業形態	必修
副教材					

## 1 科目目標

野菜の栽培に必要な知識と技術を習得させ、野菜の特性や栽培に適した環境を理解させるとともに品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる

## 2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5 6 7	第2章 野菜の生育特性 と栽培技術  野菜栽培の環境 と生育調節 1 光と温度  2 土と水	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光合成反応と呼吸作用について理解させる。</li> <li>・施設の被覆資材の違いと生育について。</li> <li>・種類や品種によって温度に対する適応性の違いがあり作型との関連性について考えさせる。</li> <li>・野菜栽培に適する土壌について理解させる。</li> <li>・代表的な野菜の生育過程を理解しその中で出てくる作業の用語などを覚え、理解させる。</li> </ul> ☆本校野菜圃場の中でその栽培法、管理作業等学習していく。 主な作目(キュウリ、トマト、メロン、スイカ、エダマメ等、)	10 4 6  10 随時	定期考査を行い、知識の理解度を評価する。 栽培実習・観察における態度、レポートを評価する。 授業への出席状況、態度や意欲について評価する。
8 9 10 11 12	3 マルチ、トンネルの利用  4 施設の種類とその利用  5 光、温度の調節  6 水と肥料の調節	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資材の特性を知りその有効利用が出来る。</li> <li>・温室やビニールハウスの種類や特徴、構造を知る。</li> <li>・施設内の光、温度の調節や水、肥料の管理を正しく理解させ</li> <li>・訪花昆虫について理解し、利用できるようにする。</li> <li>・暖房の種類、使用について理解する。</li> <li>・塩類集積、連作障害の原因とその対策について理解する。</li> </ul> ☆本校野菜圃場の中でその栽培法、管理作業等学習していく。 主な作目(ダイコン、ハクサイ、ブロッコリー、ナス、キャベツ等)	6 4 6 4 6 8	同上
1 2 3	作付け計画について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輪作体系を考えた作付け計画を立てる。</li> <li>・適切な育苗管理が行える。</li> </ul> ☆本校野菜圃場の中でその栽培法、管理作業等学習していく。	2 4	同上

## 3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心・意欲・態度	野菜の栽培について興味・関心を持って学習できているか。	授業態度、レポート等  上記を総合して100点満点で評価する
思考判断	野菜の特性や栽培に適した環境を理解し、観察結果などから栽培方法を的確に判断し、自ら行動できているか。	
技能表現	栽培実習において正しい技術が身につき、自ら実践できているか。	
知識理解	野菜の特性や栽培に適した環境について知識や理解が深められているか。	

教科(科目)	農業(野菜)	単位数	2単位	学年(学科・コース)	3年生産技術・生物工学・食品技術
使用教科書	野菜 実教			授業形態	選択
副教材					

## 1 科目目標

野菜の特性や栽培に適した環境を理解させるとともに品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる

## 2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5 6 7	第1章野菜の種類と生産 1 野菜の種類と食品としての利用 2 野菜の生産と消費の動き 第2章野菜の生育特性と栽培技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本で栽培している野菜の来歴等を理解させる。</li> <li>食品としての野菜について理解させる。</li> <li>野菜の種類別の作付面積や生産量の推移の理由を考えさせる。</li> <li>周年出荷と産地の形成について理解させる</li> <li>施設栽培と露地栽培の作型を理解させる。</li> <li>野菜の栄養成長、生殖成長を理解させる。</li> </ul> ☆本校野菜圃場の中でその栽培法、管理作業等学習していく。 主な作目(エダマメ等、)	4 4 4 4 4 10	定期考査を行い、知識の理解度を評価する。 栽培実習・観察における態度、レポートを評価する。 授業への出席状況、態度や意欲について評価する。
8 9 10 11 12	1 種子と発芽 2 茎、葉の成長 3 根の発達と肥大 4 葉根菜類の花芽形成と抽だい 5 果菜類の花芽分化と果実の発育	<ul style="list-style-type: none"> <li>発芽実験を行い、発芽の条件生理について理解させる。</li> <li>各種野菜の茎、葉の特徴を圃場での観察をとおしで覚える。</li> <li>野菜の種類による根の分布の違いを知る。</li> <li>花芽形成の外的条件を理解させる。</li> <li>果菜類の花芽形成と果実肥大を理解させる。</li> <li>両性花、単性花の違いと受粉受精を理解させる。</li> </ul> ☆本校野菜圃場の中でその栽培法、管理作業等学習していく。 主な作目(ダイコン、ハクサイ、ブロッコリー、等)	6 4 6 6 6 6	同上
1 2 3	第3章 野菜の育苗 1 良い苗の条件 2 育苗の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜苗についての外観など素質を理解させる。</li> <li>接木の目的を知り、育苗管理ができるようにする。</li> <li>作付け計画を立てられるようにする。</li> </ul> ☆本校野菜圃場の中でその栽培法、管理作業等学習していく。	2 2 2	同上

## 3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心・意欲・態度	野菜の栽培について興味・関心を持って学習できているか。	授業態度、レポート等 上記を総合して100点満点で評価する
思考判断	野菜の特性や栽培に適した環境を理解し、観察結果などから栽培方法を的確に判断し、自ら行動できているか。	
技能表現	栽培実習において正しい技術が身につき、自ら実践できているか。	
知識理解	野菜の特性や栽培に適した環境について知識や理解が深められているか。	